

講師  
有限会社オズ（海島遊民  
くらすび）代表取締役ほか  
江崎 貴久氏



1997年、有限会社オズ設立、代表取締役就任。観光業のあるべき姿を見直し、地産地消を基本に旅館海月の経営を開始。2001年、(有)オズを設立、離島をフィールドに自然や生活文化を通して環境と観光、教育と環境を一体化させたエコツアー「海島遊民くらすび」を展開。

現在、観光や環境に関わる行政委員や、地元の伊勢志摩国立公園及び鳥羽市のエコツーリズム推進協議会会長、観光協会副会長を務め、次世代のリーダー・人材育成・地域全体での資源活用のあり方を研究しながら実践するとともに、各地の地域の活性化に取り組んでいる。

**とき** 2月9日(日)  
13時30分～15時30分  
**ところ** グランディア芳泉  
5階グランディアホール  
**参加費** 無料  
**定員** 先着250人  
**申込み** 【期限】1月31日(金)

足元にある地域資源を掘り起こし、「あわらならではの」の高付加価値を付け、人を引き付ける観光資源として活用する方法や、観光を通して、住む人も来る人も幸せにする「感幸地あわら」にするにはどうしたらいいかなど、将来を見据えたまちづくり、人づくりについて学びます。

第3回まち・むらときめきセミナー  
地域資源活用セミナー  
「地域の恵みを活かす  
感幸地を目指して」



▲QRコードからも  
申し込み可能

申込み 総務課 行政G ☎ 73-8004 FAX 73-1350 ✉ machimura@city.awara.lg.jp

乗合タクシーを利用して「限定運転」を始めてみませんか？

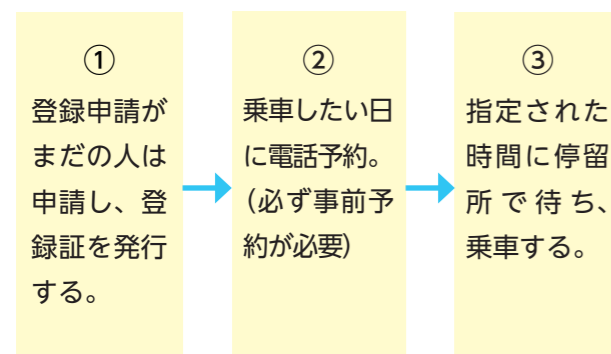
限定運転とは、交通事故の危険を避けるため、自らが運転する「時間帯」や「場所」などを限定して安全運転を続けていくものです。これから雨や雪で足元の悪い日が多くなります。路面が凍結している、天候が悪いなど運転が不安な日は、自らの運転を控え、「乗合タクシー」で外出してみませんか。

乗合タクシーの詳細は次のとおりです。登録証を持っていて、まだ利用したことがない人も、この機会にぜひご利用ください。

なお、乗合タクシーの利用には、事前申請の上、登録証の発行が必要です。(無料)



**申請場所** 生活環境課、市民課芦原分室、各公民館  
**運行日時** 月曜日～土曜日 8時～17時  
**運行区間** 市内の停留所から停留所まで  
**利用方法**



**利用料金**  
市内一律料金。複数の乗車で安くなります。

区分	1人乗車	2人乗車	3人以上乗車
大人	600円	300円	200円
・65歳以上 ・小学生 ・各種障害者手帳 を持っている人	400円	200円	100円

※65歳以上の人は、福井県公安委員会発行の「申請による運転免許の取消通知書」のコピー、または「運転経歴証明書」を持参すると100円引きになります。(3人以上の乗車の場合は適用外)

問合せ 生活環境課 ☎ 73-8017

新春の  
ごあいさつ



Yasuhiko Yasuda

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、5月に新元号「令和」に改められ、新しい時代の幕開けとともに、あわら市におきましても心機一転、気持ちを新たにスタートする年となりました。

令和5年春の北陸新幹線芦原温泉駅開業まで3年余りとなり、市内の随所で槌音が響き、高架橋やトンネル、駅舎の整備などが着実に進められています。こうした中、新幹線開業効果を最大限に引き出し、国内外からの観光客を迎え入れるため、昨年3月に策定した「和心あふれる国際的な感幸地」をコンセプトとした観光振興戦略の下、観光資源の磨き上げや観光拠点の整備、魅力発信の強化、外国人誘客の拡大に向けた取り組みなども併せて推進しているところです。

また、急速な少子高齢化や人口減少の課題に対応するため、今後、結婚や出産、子育ての支援を強化するとともに、空き家の利活用による移住・定住に向けた取り組みやふるさと教育を充実することにより、誰も

が住み、生み、育てたくなるまちづくりを進めてまいります。さらには、近年の多発する台風や豪雨、豪雪、地震などの自然災害への防災対策を強化し、各集落や関係機関と連携を図りながら、災害に強いまちづくりに注力してまいります。

今年、「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催されます。あわら市におきましては、その共催文化プログラム「2020インターナショナル小倉百人一首かるたフェスティバル」として、5月に競技かるたの「あわら世界大会」を、「第52回全国女流選手権大会」と同時開催いたします。世界の約15の国や地域から多くの選手や関係者をお迎えすることになりますが、「競技かるたの聖地」としての地位を確立するとともに、本市の魅力を国内外に広く発信したいと考えております。

引き続き、厳しい行財政環境が予想されますが、新たに迎えたこの1年も、10年先、20年先を見据えて、市民の皆さまが夢や希望を持って笑顔で元気に暮らす「誰もがときめくあわら市！」の実現に向けて、全力を尽くしてまいりますので、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

あわら市長 佐々木 康男

芦原温泉駅西口駅前広場外観イメージ